

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成31年 1月17日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ダイサンフジタショウガッコウクジシユボウサイキョウギカイ
団体名 第三藤田小学校区自主防災協議会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者 役職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	第三藤田小学校区自主防災協議会
事業実施小学校区・地区	第三藤田学区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 2回目 / 【 30年度から】
課 題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 第三藤田学区は干拓地で海拔0メートル地域であるため、大規模地震が起きると地盤沈下による交通遮断、津波による浸水、停電、断水等による長期間の孤立等計り知れない被害の発生が予想される。平成23年度から岡山市南消防署の協力を得て防災訓練を中心に様々な防災活動を行っており、地域住民の防災意識は少しずつ向上してきているが防災リーダーの育成が不十分であり、その施策を講じるとともに災害時における自助・共助の体制強化が必要である。
事 業 の 目 的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 学区内の単位町内会別に防災リーダーを育成し、各種団体代表者の協力のもと災害時における自助・共助の体制を強化することで、地域住民の防災意識の向上を図り、安全・安心で継続可能な地域づくりを推進していくことを目的とする。



事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 ① 防災リーダーを育成するため、学区内8単位町内会の役員を対象に震災記念館淡路の視察を行う。 ② 災害時の自助・共助の体制強化のため、高齢者、幼児、乳児を含めた避難所生活体験及び避難所運営の訓練を実施する。 ③ 地域住民のさらなる防災意識の向上を図るため防災訓練を実施する。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 単位町内会規模での防災リーダーの育成や防災・避難訓練の積み重ねにより高齢者を含めた住民相互の声掛けや救助を行うことができるようになるなど、災害時の自助・共助の体制につながることが期待できる。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 平成23年度から岡山市南消防署の協力のもと防災訓練を実施し、また、防災意識をより一層向上させるため防災講演会、避難所生活体験訓練、震災記念館神戸の視察等取り組んできているが、更なる意識向上のため震災記念館淡路の視察、避難所生活体験訓練、防災訓練を実施する。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 老人福祉施設メディフル（施設職員が訓練に参加）
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ① 町内会を通じて防災訓練等の開催案内を各戸に配布する。 ② 地域消防団の協力による広報活動（消防車による訓練案内の放送） ③ 防災新聞を作成し、訓練の状況等を記事にまとめ各戸に配布する。

学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 ○ 避難所生活体験訓練については、引き続き体験者を増やすことによって最低限の避難準備が地域住民に浸透するように努める ○ 防災講演会の参加者から近隣住民にその情報が伝わっていくことを期待するとともに広報誌による啓発活動に努める。 ○ 防災訓練、避難所生活体験訓練、六区夏祭りの防災コーナーの充実など継続的に活動が続けていくことで災害時における自助・共助の体制強化を図る。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 次年度以後の活動計画 防災活動を継続して実施し、地域の特性を知り、防災リーダーを育成していくことで自助・共助の体制強化を図り、高齢者を含めた住民が安心できる地域づくりに貢献していきたい。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	高齢者・幼児・乳児の参加による避難所生活体験訓練を実施し、実際の避難時と同様多様な世代が集まる避難所生活体験・運営を継続して行う。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	執行役員会の開催
5月	
6月	
7月	執行役員会の開催 (年間行事予定等)
8月	六区夏祭り「展示コーナー」で防災関係の展示
9月	執行役員会の開催 (防災訓練、避難所生活体験訓練実施について)
10月	防災訓練
11月	避難所生活体験及び避難所運営訓練
12月	
1月	執行役員会の開催 (リーダー研修会の打ち合わせ)
2月	震災記念館淡路リーダー研修会の実施
3月	執行役員会の開催 (年間を通しての振り返り)

収 支 予 算 書

◆収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	453,000	265,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	17,000	165,000	
協賛金			
寄付、他収入	100,000	100,000	都六区・錦六区連合町内会
計	570,000	530,000	

◆支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	90,000	50,000	展示用非常食、炊き出し用調理器具、食器類、コピー用紙代他
食糧費	10,000	15,000	会議用お茶他
印刷製本費	85,000	85,000	会議資料、防災新聞、訓練案内
通信運搬費	10,000	10,000	案内ハガキ、切手代
原材料費	0	20,000	訓練用非常食他
報償費	25,000	0	講師謝金
保険料	50,000	50,000	イベント用傷害保険
旅費	300,000	300,000	リーダー研修会
計	570,000	530,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	☒ 希望する	☐ 希望しない
-----------	--	--------------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

事業実施のための資金がないため、概算払いを希望する。

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。